

富医ニュース

No.572 令和1年7月1日

一般社団法人 富田林医師会

会長 宮田 重 樹

〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38

TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858

E-mail: mail@tondabayashiishikai.jp

吉村新市長を表敬訪問

今年の5月に新市長に就任された吉村新市長に、6月17日会長副会長4名で富田林市役所に表敬訪問致しました。

健康医療の専門職として、富田林医師会は富田林市に精一杯協力していく所存であることをお伝えしました。

市長からは富田林市も多くの課題を抱えているが、その一つに人口減少があり、富田林市で暮らしたい、富田林市に移り住みたいと思って頂ける町作りが必要で、そのためにはまず現在富田林市に住んでおられる市民の満足度を高められるように安心して子育てができ、いくつになっても安心して暮らせる町づくりが求められるとおっしゃられていました。

安心して暮らせる町作りには重要な柱の一つが市民の健康寿命延伸です。健康寿命延伸のためには医学的知識をフルに活用した施策が必要です。行政の方々は何とか健康寿命延伸を叶えたいと思っておられますが、効果的に行うにはどうすべきか専門的知識に欠けているため方針を立てても効果が思うほど上がっていないのではないかと以前から思っていたことを話しました。現場で働いている職員の意見を取り上げスクラップアンドビルドで新しい施策が行われることをお願いしました。今まで以上に医師会から提案でき、よりよい医療行政が行われるようになっていけば有難いことです。

各副会長から医師会として、突然体調を崩しても助かる町、地域中核病院(富田林病院、PL病院)と医師会が連携しより良い医療が行われている町、在宅で安心して暮らせる町、医療と介護の各職種が密に連絡を取り合っ地域での生活を守れる町、自宅で看取りができる町、大規模災害が起こっても十分な医療バックアップ体制のある町を目指して活動を行っているが、さらにレベルアップを図れるよう市と協力していきたい旨を申し上げました。

今年11月に毎年行われていた認知症フォーラムが第10回を迎えるにあたり、ソウルオリンピック続いてバルセロナオリンピック体操で4つのメダルを獲得した池谷幸雄氏を演者として迎え、健康増進のためには運動がとても有効であるということを市民の方々に力説したいということをお伝えしました。

来年富田林市が市制70周年を迎えます。市長からその行事の一環として市民に健康講演やフォーラムを行っていききたいという想いを伺い、医師会としてもぜひ複数の講演会を行っていききたいと申し出ました。

改めて地域医療をより良いものにしていくためには、個々の医師一人が努力するだけでは限界があり、医師会単独の努力より行政と協力していくことが近道だという想いが強くなりました。年に複数回市長と医師会とが意見交換できる場を設けることと致しました。より良い地域医療を実現できるような市にして欲しい要望等がございましたら事務局までご連絡ください。宜しくお願いします。

調 整 日

6月分 7月8日(月)
PM3:00まで

7月分 8月8日(木)
PM3:00まで

7 月 の 予 定

1日(月)・会長副会長連絡会議

2日(火)・休日診療委員会

8日(月)・調整日

9日(火)・学校医部会

10日(水)・救急災害医療委員会

11日(木)・病診連携会

12日(金)・理事会

13日(土)・社会保険指導講習会

22日(月)・訪問看護ステーション
運営委員会

23日(火)・感染症対策委員会
・広報調査委員会

26日(金)・広報調査委員会
(校正)

30日(火)・休日診療委員会

令和元年 6月定例理事会

日 時 令和元年6月14日(金)

13:30より

場 所 医師会 特別会議室

会長挨拶

報告事項

- 1) 産業廃棄物管理票(マニフェスト)交付等状況報告書の提出(6月30日まで)について
- 2) 解散した健康保険組合被保険者証に関する窓口確認について
- 3) 令和元年度集团的個別指導(集団講義方式)実施通知について
- 4) 令和元年度社会保険指導講習会(河内長野市医師会館)
- 5) 令和元年度富田林保健所健康危機管理関係機関会議(6/13)赤松理事出席

協議事項

- 1) 入退会の件
- 2) 訪問看護時の駐車違反について
- 3) 医師会70周年祝賀会について
- 4) 第1回都市区等医師会救急医療担当理事連絡協議会 7月29日(月)14:30～ 赤松理事出席
- 5) 救急災害時地区割 改定について 会員に配布する
- 6) 災害用にさくら連絡網を利用してみる

第48回 富田林医師会病診連携会

日 時 2019年7月11日(木) 14:00～

場 所 医師会 大会議室

教育講演 14:10～14:40

『認知症の診断と薬物療法』

近畿大学医学部 精神神経科学教室

リハビリテーション医学教室 講師

花田 一志 先生

ディスカッション 14:40～15:10

『認知症患者への接し方』

近畿大学医学部 精神神経科学教室

リハビリテーション医学教室 講師

花田 一志 先生

富田林病院 精神科部長 岡江 正純 先生

富田林病院 認知症看護認定看護師

副看護師長 小西 早苗 先生

※大阪府医師会生涯研修1単位(CC:20:不眠、70:気分の障害)

令和元年度社会保険指導講習会 開催のお知らせ

日 時 令和元年7月13日(土) 受付 13:30～

開演 14:00～

場 所 河内長野市医師会館3階

演 題

『保険診療の理解のために

～医療における人権問題を含めて～』

講 師 大阪府医師会 理事 阪本 栄 先生

単 位 2単位

C C 06(医療制度と法律)、07(医療の質と安全)、
09(医療情報)、12(地域医療)

※当講演会は大阪府医師会生涯研修システム、及び指定学校医制度認定研修会への登録申請中です。当日はチケットをご持参下さい。

府医健康スポーツ医・ロコモ研修会 の案内

昨年度までは、メタボを中心とした生活習慣病対策としての運動の講演が中心でしたが、今年度からロコモティブシンドローム(ロコモ)をメインテーマとして研修会が開催されます。足腰が弱って歩きにくくなり始めてあるロコモの時に気付かず放置していると健康寿命が縮まり、よぼよぼ老人から寝たきり老人になってしまいます。ロコモの時にロコトレを始めると健康寿命が延びて達者な老人になれます。ロコトレは、4つの運動でこれを行うと健康寿命延伸だけでなく、腰痛・膝痛改善ができ、さらに生活習慣病にも有効です。

ぜひ、受講して頂き、貴院の患者さんがいつまでも元気に通院できるようにロコトレ指導していただきますようお願いいたします。

日 時:8月21日(水) 午後2時～4時

8月22日(木) 午後2時～4時

場 所:大阪府医師会館 4階大会議室

内 容:ロコモティブシンドロームについて講義とロコトレ実習“健康寿命を縮めるロコモ 健康寿命を延ばすロコトレ”

講 師:8月21日 宮田重樹先生(宮田医院 富田林市)

8月22日 和田孝彦先生(オサダ整形外科 堺市)

定 員:各日50名

受講料:無料

備 考:府医障害研修システム研修会 2単位

申し込み:7月府医ニュースをご覧の上、府医地域医療2課宛てにFAXしてください。

2019年度 会員親睦会『TMF』 京都四條南座「東海道四谷怪談」観劇のご案内

今年度のTMFは、京都四條南座「東海道四谷怪談」の観劇をすることになりました。

6月20日付けで各診療所あてにFAXしましたが、A会員の先生方の先行案内を経てA2B会員及びB会員とそのご家族の方へのご案内を開始しております。

観劇日時：2019年9月8日(日)

京都四條南座 11時開演(お弁当付)

詳細は申し込まれた方へご連絡いたします。

募集開始：2019年6月21日(金)よりFAXで受付中です。

富医ニュースに同封の申込用紙でFAXでご応募ください。

会費：●A会員 本人のみ 5,000円

●A2B会員及びB会員・ご家族とも 1万円

対象：募集人数の都合上A2B会員及びB会員とそのご家族のみです。先着順となります。



専門医より一言



がん患者に寄り添う医療を目指して

～大腸がん病診連携とチーム医療～

富田林病院

外科 副部長 藤井 仁 先生

日本で最も患者数が多いがんが「大腸がん」ですが、早期に発見すれば非常に治療成績がよいがんです。しかしながら大阪府、特に南河内地域の大腸がん検診率は低く、地域の皆様への啓蒙が重要です。

富田林病院ではカメラが困難な人などに対しては、大腸CTを用いた監査も行い、約300症例の実績があります。また高齢者の多い大腸がん治療に対して、手術治療では単孔式を含む低侵襲の腹腔鏡手術を9割以上に施行し、化学療法では多職種チーム医療による患者サポートに力を入れています。また地域の「かかりつけ医」との連携にも力を入れ、4年で約140件の大腸癌連携パスを導入し、多くのかかりつけ医の先生方や患者様から、「連携パスに入ってよかった」とのアンケート結果もいただいております。

富田林病院では今後も引き続き病診連携やチーム医療の取り組みを継続し、がん患者に寄り添う大腸がん治療を推進していきたいと考えております。

第六回 平成の会

紫陽花の青が目を追うごとに美しさを増してくる梅雨直前のさる令和元年6月8日



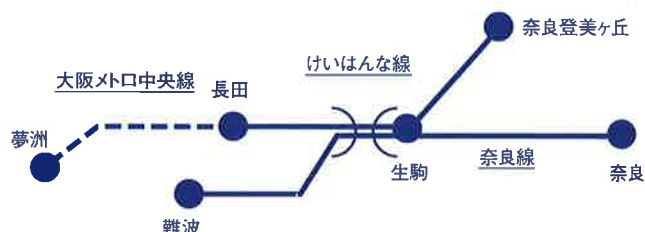
(土)、第六回平成の会が高麗橋 La Chic(ラ シック)にて行われました。

赤松副会長のご挨拶、乾杯に引き続き、初参加の山本秀文先生、藤原良平先生の自己紹介がなされました。今回の参加会員は15名でしたが、レストラン内に我々のためだけに5卓のテーブルが用意されており貸し切りでの宴となりました。高級フレンチとお酒に舌鼓をうちながら、会員の近況がかたられ盛り上がりました。「連休中の枕草子読破」や「連休中の息子さんと二人だけでのロスアンゼルス旅行」、「医師会理事のお仕事の話」、「芽セロリの長話」等々談笑のなか、あっという間の終宴となりました。

新地での二次会では皆で一つのテーブルを囲みながら、今後の医療情勢や医院経営、学術等の話は一切なしで、ラーメン、餃子、鮭に焼き肉、お蕎麦など、食べ物のお話だけでおひらきになっちゃいました。(天城)

* 鉄道トリビア ～夢洲行き近鉄特急～

2025年、大阪万博が夢洲で開催されることが決まり、鉄道の世界でも色々な動きが出始めているのは皆さんもニュース等で見たことがあるかと思います。去る5月14日、近鉄は会見で、グループ計画の一つとして奈良、京都方面から万博会場である夢洲までの直通特急を新設する意向を発表しました。現在奈良方面からは難波駅で阪神線と直結し、神戸三宮まで直通列車が行き交っているのはご存知かと思います。今回の計画では、奈良方面からきた直通特急は生駒駅から近鉄けいはんな線へ乗り入れ、そのまま大阪メトロ中央線へ。そして夢



6 月 行 事 ・ 会 合

洲まで乗り換えなしで運行しようというものです。同じ近鉄ですからレールの幅はおなじ。簡単にできそうです。しかしこの直通運転にはいくつかのハードルが存在するのです。今回はそのお話を。

まず基礎知識として、電車が電気を取り入れる方法には主に2つの方法があります。一つは架線からパンタグラフという集電装置(屋根の上に乗っているひし形、もしくは「く」の字のやつです)で電気を取り入れる架線集電。もう一つは第3軌条といって、2本のレールの横にもう一本線路を敷いて、台車にコレクターシューという靴べら状の集電装置をつけて、そこから電気を取り入れる第3軌条集電です。

近鉄けいはんな線は、大阪メロ中央線の起点である長田駅から生駒駅を経て、学研奈良登美ヶ丘までを結ぶ路線です。大阪メロとの相互乗り入れが前提ですので、集電方式および電圧はメロに合わせ、第3軌条方式で直流750Vが採用されています。一方の近鉄奈良線は架線集電で、その電圧は直流1500V。つまり同じ近鉄電車でも、両線は集電方法と電圧が異なるため、線路の幅が同じであっても電車がそのまま乗り入れることはできないのです。

そこで近鉄は、今回の計画実現のためにどちらの集電方式や電圧にも対応できる新型の特急車両を新造するとしています。そんなことが技術的にできるのか?と調べてみたら、すでにそういう車両は世の中に存在しているのです。パンタグラフとコレクターシューを両方とも兼ね備えた電車の一例としてはイギリスで、ロンドンとパリやブリュッセルを結ぶ高速鉄道「ユーロスター」があります。イギリス



では高速鉄道区間が架線方式(交流25000V・50Hz)なのに対して、在来線は第3軌条方式(直流750V)であり、ユーロスターは2007年までは在来線に乗り入れていたため、第3軌条方式にも対応するためのコレクターシューが装着されていました。そのこともあってか、近鉄はイギリスの車両メーカーに製造を依頼するという計画もあるようです。

第3軌条方式の利点は、屋根にパンタグラフをつけるスペースを省けることにより、トンネルの高さを低くすることができるという点です。ですので大阪メロをはじめとした地下鉄路線はその多くが第3軌条方式を採用しています。大阪メロのトンネルは、車両の屋根すれすれ、という箇所もたくさんあります。一方第3軌条の欠点は、

- 3日(月)・会長副会長連絡会議
- 6日(木)・調整日
- 13日(木)・学術講演会
- 14日(金)・理事会
- 17日(月)・訪問看護ステーション運営委員会
- 21日(金)・広報調査委員会
- 24日(月)・広報調査委員会(校正)

時速100km以上の高速域になるとコレクターシューの追従性や耐久性等に問題が生じるため、速度を出しにくいことがあげられます。ですので一般の鉄道は架線集電方式を採用することがほとんどなのです。

ここに次の問題点が浮上してきます。今までの近鉄の一般車両がメロの路線に入ろうとすれば、トンネルの高さが低すぎてパンタグラフを畳んでもひっかかってしまう恐れがあるのです。おそらく新造する特急車両は、パンタグラフを全く新しいデザインとするか、パンタグラフを付ける部位だけ屋根を低くするなどの対策が講じられると思います。そのあたりをどのように処理するのか、マニアとしては興味深いところです。(zenkun)

- 会員数(7月1日現在) 190名
 - A会員 97名 B会員 92名 C会員 1名
- 入会 5月29日
 - 楠谷 尚 A2B(富田林病院 皮膚科)
 - 6月4日
 - 中本 進 A2B(富田林病院 循環器外科 循環器内科)
 - 6月10日
 - 辻江 正樹 B(富田林病院 消化器外科)
 - 6月12日
 - 島岡 昌生 A2B(富田林病院 産婦人科産科婦人科)
- 退会 なし
- 異動 なし

広 報 調 査 委 員 会				
委員長	齊 藤 謙 介	副委員長	森 井 秀 樹	
委 員	青山 賢治	天城 完二	植村 匡志	
	江村 俊也	奥野 敦史	尾多賀雅哉	
	遠山 佳樹	中村 元	藤岡 洋	
	山本 善哉	山村 友良		